



情報収集衛星に係る経費の 平成28年度予算概算要求

内閣衛星情報センター

1. 概算要求の方針

従来の4機体制では、撮像頻度の制約等の課題があることから、撮像時間の多様化及び撮像頻度の向上のため、情報収集衛星の機数増を行う。具体的には、関心対象の発見、識別及び詳細監視のための「基幹衛星」4機（従来の4機体制に相当）に、関心対象の動的な監視のための「時間軸多様化衛星」4機及びデータ中継衛星2機を加え、合計10機の整備を目標とする。このような方針の下、以下の主要施策を実施する。

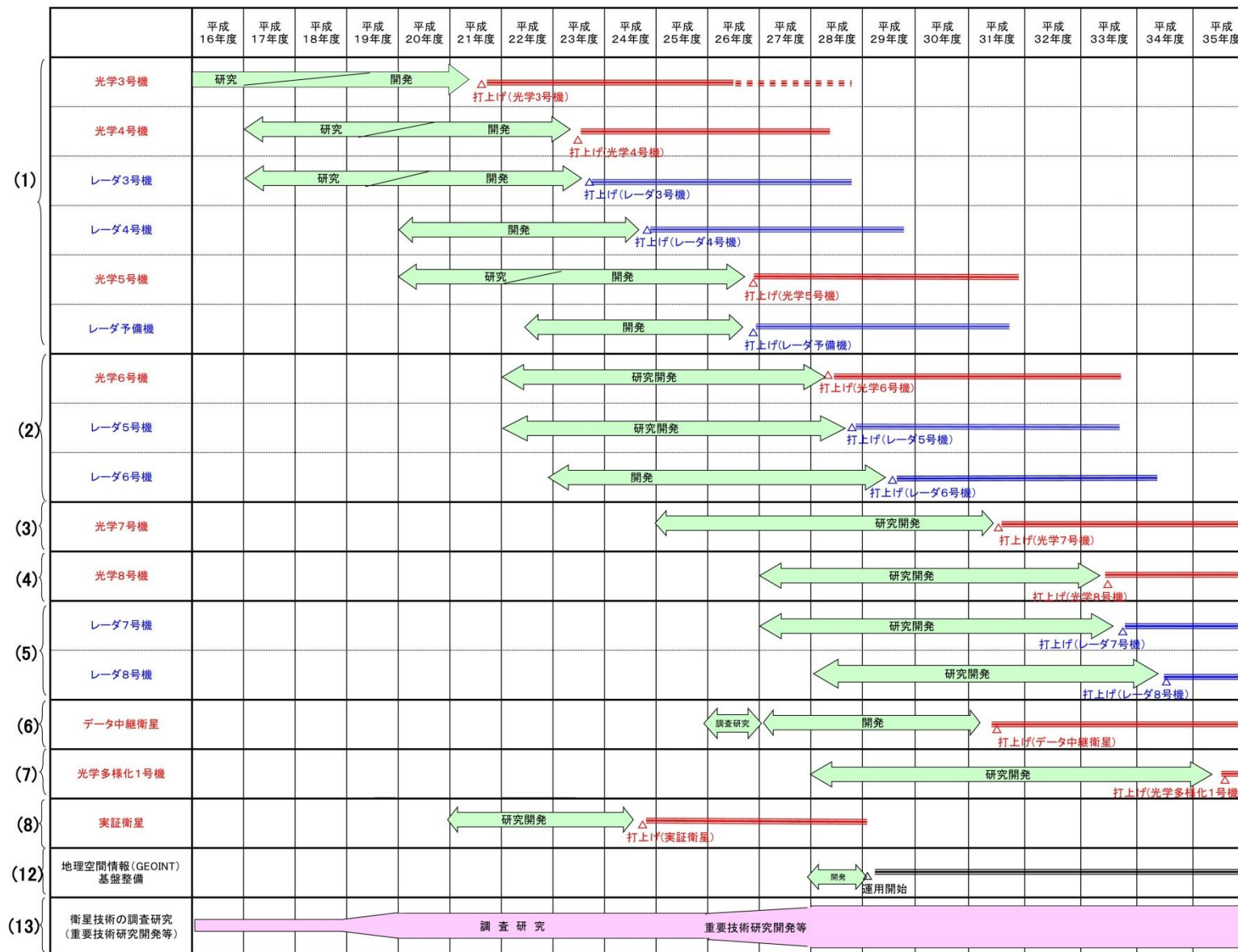
- (1) 光学多様化1号機の開発に着手する。
- (2) 基幹衛星としてのレーダ8号機の開発に着手する。
- (3) 各種情報を融合・処理した地理空間情報（GEOINT）の基盤整備に着手する。
- (4) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、実利用を目指した重要技術の先行研究開発を拡充・強化する。

2. 概算要求の概要 (単位：億円)

経費区分	平成27年度 予算額	平成28年度概算要求額			対前年度 比較増減
			要望基礎額	要望額	
(1) 情報収集衛星の運用等	146	143	141	2	▲3
(2) 光学6号機、レーダ5、6号機の開発	276	314	295	19	39
(3) 光学7号機の開発	68	75	50	25	7
(4) 光学8号機の開発	21	23	1	21	2
(5) レーダ7、8号機の開発	12	27	4	23	15
(6) データ中継衛星の開発	14	46	15	31	32
(7) 光学多様化1号機の開発	0	1	0	1	1
(8) 実証衛星の運用	9	8	8	0	▲1
(9) 光学5号機の開発	8	0	0	0	▲8
(10) レーダ予備機の開発	4	0	0	0	▲4
(11) 大型光学センサ地上実証	22	0	0	0	▲22
(12) 地理空間情報 (GEOINT) 基盤整備等	0	14	0	14	14
(13) 衛星技術の調査研究等	35	49	37	13	14
合計	614	701	552	149	88

(注) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

3. 概算要求の概要 (開発・運用スケジュール)



(※) 平成28年度概算要求時点での見通しであり、今後、変更が生じ得る。